

定量的な開示事項（単体情報）

一. 自己資本の充実度に関する事項 イ. 信用リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

項 目	2023年9月30日
標準的手法が適用されるエクスポージャー	200
内部格付手法の段階的適用資産	—
内部格付手法の適用除外資産	200
内部格付手法が適用されるエクスポージャー	180,015
事業法人等向け	128,462
事業法人向け（特定貸付債権を除く）	123,207
特定貸付債権	1,619
ソブリン向け	1,297
金融機関等向け	2,337
リテール向け	20,848
居住用不動産向け	15,983
適格リボルビング型リテール向け	235
その他リテール（事業性）向け	3,263
その他リテール（消費性）向け	1,366
株式等	3,107
うちPD/LGD方式適用部分	2,487
うちマーケット・ベース方式の簡易手法適用部分	619
うちマーケット・ベース方式の内部モデル手法適用部分	—
うちリスク・ウェイト100%を適用部分	—
みなし計算	10,352
ルック・スルー方式	10,107
マンドート方式	—
蓋然性方式（リスク・ウェイト250%）	—
蓋然性方式（リスク・ウェイト400%）	—
フォールバック方式	244
購入債権	910
その他資産等	16,333
証券化エクスポージャー	—
CVAリスク相当額を8%で除した金額	1,584
中央清算機関等	—
合 計	181,799

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
(連結情報)

定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

ロ. 信用リスク・アセットの額及び信用リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

項 目	2024年9月30日	
	信用リスク・アセットの額	所要自己資本の額
標準的手法が適用されるエクスポージャー	2,168	86
内部格付手法の段階的適用資産	—	—
内部格付手法の適用除外資産	2,168	86
内部格付手法が適用されるエクスポージャー	1,540,253	159,249
事業法人等向け	1,078,687	106,315
事業法人向け（特定貸付債権を除く）	1,006,358	100,362
特定貸付債権	22,278	1,911
ソブリン向け	14,094	1,132
金融機関等向け	35,956	2,909
リテール向け	207,694	21,965
居住用不動産向け	152,986	15,214
適格リボルビング型リテール向け	2,674	333
その他リテール（事業性）向け	34,195	4,501
その他リテール（消費性）向け	17,838	1,916
株式等	63,988	5,119
投機的な非上場株式に対する投資に該当する株式等	—	—
上記以外の株式等	63,988	5,119
みなし計算	107,872	8,323
ルック・スルー方式	104,872	8,083
マンドート方式	—	—
蓋然性方式（リスク・ウェイト250%）	—	—
蓋然性方式（リスク・ウェイト400%）	—	—
フォールバック方式	3,000	240
購入債権	8,767	735
その他資産等	73,242	16,790
証券化エクスポージャー	—	—
CVAリスク相当額を8%で除して得た額（限定的なBA-CVA）	52,051	6,406
中央清算機関等	—	—
合 計	1,594,473	165,742

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
（連結情報）

定量的な開示事項
（単体情報）

ハ. オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

項 目	2023年9月30日
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	7,288
うち粗利益配分手法	7,288

(注) オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額は「オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額」に8%を乗じた額で算出しております。

二. 標準的計測手法による、オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額及びオペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

項 目	2024年9月30日
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	87,735
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	7,018

(注) オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額は「オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額」に8%を乗じた額で算出しております。

ホ. BI・BICの額

(単位：百万円)

項 目	2024年9月30日
B I の額	58,490
B I C の額	7,018

(注) オペレーショナル・リスク算出に使用するILMは自己資本比率告示第306条第1項第3号に基づき「1」を使用しております。

ヘ. リスク・アセットの合計額及び単体総所要自己資本額

(単位：百万円)

項 目	2023年9月30日	2024年9月30日
リスク・アセットの合計額		2,197,961
単体総所要自己資本額	92,969	87,918

(注) 1. 総所要自己資本額は「リスク・アセットの合計額」に4%を乗じた額で算出しております。
2. 2023年9月期は、粗利益配分手法を採用しております。

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
(連結情報)

定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

二. 信用リスクに関する事項

イ. 信用リスクに関するエクスポージャー及び延滞又はデフォルトしたエクスポージャーの中間期末残高

(種類別、地域別、業種別、残存期間別)

(単位：百万円)

		2023年9月30日					
		信用リスクエクスポージャー中間期末残高					三月以上延滞又は デフォルトした エクスポージャー
		貸出金等	債 券	デリバティブ	その他	計	
種類別計	標準的手法が適用されるエクスポージャー	—	—	—	7,066	7,066	271
	内部格付手法が適用されるエクスポージャー	3,999,501	676,309	2,426	669,721	5,347,958	76,970
		3,999,501	676,309	2,426	676,788	5,355,024	77,242
	国内計	3,999,501	676,309	2,426	657,139	5,335,376	77,242
	国外計	—	—	—	19,648	19,648	—
地域別計		3,999,501	676,309	2,426	676,788	5,355,024	77,242
	製造業	355,774	42,960	34	7,032	405,801	13,345
	農業、林業	5,308	—	—	0	5,309	381
	漁業	12	—	—	—	12	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	1,116	—	—	—	1,116	—
	建設業	204,983	10,457	—	196	215,637	5,629
	電気・ガス・熱供給・水道業	48,759	—	—	202	48,961	26
	情報通信業	14,903	4,578	—	727	20,208	131
	運輸業、郵便業	166,958	10,452	2	4,761	182,175	3,886
	卸売業、小売業	314,393	5,764	12	4,953	325,123	10,440
	金融業、保険業	174,652	92,961	—	96,003	363,617	—
	不動産業、物品賃貸業	1,110,297	18,966	30	16,668	1,145,964	22,713
	各種サービス業	370,563	9,434	14	2,192	382,203	9,054
	国・地方公共団体	212,023	480,733	—	89,146	781,903	—
	個人	1,019,754	—	—	—	1,019,754	11,350
	その他	—	—	2,331	454,903	457,234	282
	業種別計		3,999,501	676,309	2,426	676,788	5,355,024
	1年以下	632,517	44,583	9	324,766	1,001,877	31,133
	1年超3年以下	322,793	142,277	3	36,990	502,063	5,574
	3年超5年以下	466,189	186,980	—	8,053	661,223	3,220
	5年超7年以下	301,125	38,972	336	95,054	435,489	5,386
	7年超10年以下	327,410	78,713	14	5,301	411,440	5,067
	10年超	1,949,464	184,781	2,062	73,897	2,210,206	26,576
	期間の定めのないもの	—	—	—	132,724	132,724	284
残存期間別計		3,999,501	676,309	2,426	676,788	5,355,024	77,242

- (注) 1. 「貸出金等」とは、貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引であります。
2. 「三月以上延滞又はデフォルトしたエクスポージャー」には、標準的手法を適用したエクスポージャーのうち元本又は利息の支払が3ヶ月以上延滞しているもの、内部格付手法を適用したエクスポージャーのうち与信先の債務者格付が「要管理先」以下のものを記載しております。
3. 中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

(種類別、地域別、業種別、残存期間別)

(単位：百万円)

		2024年9月30日					
		信用リスクエクスポージャー中間期末残高					延滞又は デフォルトした エクスポージャー
		貸出金等	債 券	デリバティブ	その他	計	
	標準的手法が適用されるエクスポージャー	—	—	—	2,038	2,038	258
	内部格付手法が適用されるエクスポージャー	4,071,905	741,389	318	587,936	5,401,550	76,308
種類別計		4,071,905	741,389	318	589,975	5,403,589	76,567
	国内計	4,071,905	741,389	318	558,851	5,372,466	76,567
	国外計	—	—	—	31,123	31,123	—
地域別計		4,071,905	741,389	318	589,975	5,403,589	76,567
	製造業	370,757	40,611	61	6,322	417,752	9,328
	農業、林業	4,836	—	—	0	4,837	302
	漁業	11	—	—	—	11	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	996	—	—	—	996	39
	建設業	215,677	10,891	—	214	226,783	6,600
	電気・ガス・熱供給・水道業	47,102	298	—	448	47,849	25
	情報通信業	13,931	4,953	—	730	19,615	328
	運輸業、郵便業	167,837	13,841	2	1,971	183,653	3,423
	卸売業、小売業	307,234	7,051	154	6,478	320,920	10,021
	金融業、保険業	167,325	93,589	—	109,184	370,098	4
	不動産業、物品賃貸業	1,133,504	15,842	81	13,893	1,163,321	20,391
	各種サービス業	381,030	9,339	18	10,446	400,835	14,202
	国・地方公共団体	209,390	544,969	—	77,893	832,253	—
	個人	1,052,268	—	—	—	1,052,268	11,424
	その他	—	—	—	362,390	362,390	474
業種別計		4,071,905	741,389	318	589,975	5,403,589	76,567
	1年以下	646,321	46,759	129	235,334	928,545	31,580
	1年超3年以下	335,681	159,318	26	16,490	511,517	4,946
	3年超5年以下	440,033	162,096	36	40,680	642,848	2,778
	5年超7年以下	337,543	65,803	—	84,173	487,520	8,687
	7年超10年以下	306,330	72,712	69	15,262	394,374	3,096
	10年超	2,005,994	234,699	55	84,485	2,325,235	25,477
	期間の定めのないもの	—	—	—	113,548	113,548	1
残存期間別計		4,071,905	741,389	318	589,975	5,403,589	76,567

(注) 1. 「貸出金等」とは、貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引であります。

2. 「延滞又はデフォルトしたエクスポージャー」には、標準的手法を適用したエクスポージャーのうち、自己資本比率告示第71条及び第72条に規定するエクスポージャー並びに内部格付手法を適用したエクスポージャーのうち与信先の債務者格付が「要管理先」以下のものを記載しております。

3. 中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

ロ. 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金及び特定海外債権引当勘定の中間期末残高及び期中増減額

(単位：百万円)

	2023年度中間			2024年度中間		
	期首残高	期中増減額	中間期末残高	期首残高	期中増減額	中間期末残高
一 般 貸 倒 引 当 金	10,808	△469	10,339	7,830	△207	7,623
個 別 貸 倒 引 当 金	5,550	△267	5,283	6,357	△1,059	5,298
特 定 海 外 債 権 引 当 勘 定	—	—	—	—	—	—
合 計	16,359	△736	15,623	14,188	△1,266	12,921

自己資本の構成に
関する開示事項定量的な開示事項
(連結情報)定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

(個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳)

(単位：百万円)

	2023年度中間			2024年度中間		
	期首残高	期中増減額	中間期末残高	期首残高	期中増減額	中間期末残高
国内計	5,550	△267	5,283	6,357	△1,059	5,298
国外計	—	—	—	—	—	—
地域別計	5,550	△267	5,283	6,357	△1,059	5,298
製造業	2,276	56	2,333	3,428	△2,567	860
農業、林業	16	35	51	0	0	0
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	427	△16	410	319	46	366
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	3	△0	3	0	133	134
運輸業、郵便業	127	357	484	136	109	245
卸売業、小売業	735	△427	308	262	88	351
金融業、保険業	—	—	—	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	1,432	△146	1,286	1,241	929	2,171
各種サービス業	335	△31	303	820	77	898
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	—
個人	92	△23	68	112	△41	71
その他	103	△72	31	34	164	198
業種別計	5,550	△267	5,283	6,357	△1,059	5,298

ハ. 業種別の貸出金償却の額

(単位：百万円)

	2023年9月30日	2024年9月30日
製造業	149	539
農業、林業	295	114
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	150	683
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情報通信業	—	9
運輸業、郵便業	91	239
卸売業、小売業	765	295
金融業、保険業	—	—
不動産業、物品賃貸業	1,110	446
各種サービス業	116	362
国・地方公共団体	—	—
個人	94	654
その他	4	0
業種別計	2,780	3,345

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
(連結情報)

定量的な開示事項
(単体情報)

二. 標準的手法が適用されるエクスポージャーについてリスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高並びに1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額 (単位: 百万円)

	2023年9月30日	
	格付有り	格付無し
0%	—	—
10%	—	—
20%	—	2,751
35%	—	—
50%	—	—
75%	—	—
100%	—	4,043
150%	—	271
250%	—	—
1250%	—	—
合 計	—	7,066

(注) 1. 格付有無は、元のエクスポージャー又は債務者の格付の有無で分類しておりますが、「格付有り」には、ソブリン格付を参照したものも含まれます。
2. 中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

(単位: 百万円)

	2024年9月30日	
	格付有り	格付無し
0%		
10%		
20%		
35%		
50%		
75%		
100%		
150%		
250%		
1250%		
合 計		

ホ. 標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち自己資本比率告示第55条から第76条まで及び第77条の2の規定に該当するエクスポージャーについて、ポートフォリオの区分ごとのエクスポージャーの額並びに信用リスク・アセットの額 (単位: 百万円)

	2024年9月30日					
	CCF・信用リスク削減手法適用前エクスポージャー		CCF・信用リスク削減手法適用後エクスポージャー		信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値
	オン・バランス	オフ・バランス	オン・バランス	オフ・バランス		
ソブリン向け	—	—	—	—	—	—
金融機関等向け	—	—	—	—	—	—
法人等向け	1,780	—	1,780	—	1,780	100.00%
中堅中小企業等向け及び個人向け	—	—	—	—	—	—
不動産関連向け	—	—	—	—	—	—
延滞等	258	—	258	—	387	150.00%
その他	—	—	—	—	—	—
合 計	2,038	—	2,038	—	2,168	106.34%

(注) 1. 「リスク・ウェイトの加重平均値」とは、「信用リスク・アセットの額」を「CCF・信用リスク削減手法適用後エクスポージャー」の「オン・バランス」の額と「オフ・バランス」の額の合計額で除して算出しております。
2. 「ソブリン向け」とは、「日本国政府及び日本銀行向け」、「外国の中央政府及び中央銀行向け」、「国際決済銀行向け」、「我が国の地方公共団体向け」、「外国の中央政府等以外の公共部門向け」、「地方公共団体金融機構向け」、「我が国の政府関係機関向け」、「地方三公社向け」、「国際開発銀行向け」のエクスポージャーであります。
3. 「金融機関等向け」とは、「金融機関向け」、「第一種金融商品取引業者向け」、「保険会社向け」のエクスポージャーであります。
4. 「不動産関連向け」とは、「自己居住用不動産等向け」、「賃貸用不動産向け」、「事業用不動産関連」、「その他不動産関連」、「ADC向け」のエクスポージャーであります。
5. 「その他」とは、「株式等」、「取立未済手形」等のエクスポージャーであります。

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
(連結情報)

定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

ハ. 標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち自己資本比率告示第55条から第76条まで及び第77条の2の規定に該当するエクスポージャーについて、ポートフォリオの区分ごとのエクスポージャーの額並びにリスク・ウェイトの内訳

(単位：百万円)

	2024年9月30日								
	40%未満	40%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%以上 150%未満	150%以上 250%未満	250%以上 400%未満	400%以上 1250%未満	1250%	合計
ソブリン向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金融機関等向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法人等向け	—	—	—	1,780	—	—	—	—	1,780
中堅中小企業等向け 及び個人向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不動産関連向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—
延滞等	—	—	—	—	258	—	—	—	258
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	1,780	258	—	—	—	2,038

(注) 1. 「ソブリン向け」とは、「日本国政府及び日本銀行向け」、「外国の中央政府及び中央銀行向け」、「国際決済銀行向け」、「我が国の地方公共団体向け」、「外国の中央政府等以外の公共部門向け」、「地方公共団体金融機構向け」、「我が国の政府関係機関向け」、「地方三公社向け」、「国際開発銀行向け」のエクスポージャーであります。

2. 「金融機関等向け」とは、「金融機関向け」、「第一種金融商品取引業者向け」、「保険会社向け」のエクスポージャーであります。

3. 「不動産関連向け」とは、「自己居住用不動産等向け」、「賃貸用不動産向け」、「事業用不動産関連」、「その他不動産関連」、「ADC向け」のエクスポージャーであります。

4. 「その他」とは、「株式等」、「取立未済手形」等のエクスポージャーであります。

ト. 標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち自己資本比率告示第55条から第76条まで及び第77条の2の規定に該当するエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	2024年9月30日			
	CCF・信用リスク削減手法適用前エクスポージャー		CCF加重平均値	CCF・信用リスク削減手法適用後エクスポージャー
	オン・バランス	オフ・バランス		
40%未満	—	—	—	—
40%以上75%未満	—	—	—	—
75%以上100%未満	—	—	—	—
100%以上150%未満	1,780	—	—	1,780
150%以上250%未満	258	—	—	258
250%以上400%未満	—	—	—	—
400%以上1250%未満	—	—	—	—
1250%	—	—	—	—
合 計	2,038	—	—	2,038

チ. 内部格付手法が適用されるエクスポージャーのうち、スロットティング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権のリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(1) プロジェクト・ファイナンス、オブジェクト・ファイナンス、コモディティ・ファイナンス、事業用不動産向け貸付

(単位：百万円)

スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2023年9月30日	2024年9月30日
優	2.5年未満	50%	3,246	2,120
	2.5年以上	70%	23,026	28,600
良	2.5年未満	70%	—	—
	2.5年以上	90%	137	1,036
可	—	115%	91	229
弱い	—	250%	—	—
デフォルト	—	0%	—	—
合 計			26,501	31,987

(注) 「スロットティング・クライテリア」とは、告示第153条に規定された5つのランク（優、良、可、弱い、デフォルト）のことです。

(2) ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付

(単位：百万円)

スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2023年9月30日	2024年9月30日
優	2.5年未満	70%	—	—
	2.5年以上	95%	—	—
良	2.5年未満	95%	—	—
	2.5年以上	120%	—	—
可	—	140%	—	—
弱い	—	250%	—	—
デフォルト	—	0%	—	—
合 計			—	—

(注) 「スロットティング・クライテリア」とは、告示第153条に規定された5つのランク（優、良、可、弱い、デフォルト）のことです。

リ. 内部格付手法が適用されるエクスポージャーのうち、マーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャーのリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(単位：百万円)

上場／非上場	リスク・ウェイト	2023年9月30日	2024年9月30日
上場	300%	1,036	—
非上場	400%	1,047	—
合 計		2,084	—

(注) 「マーケット・ベース方式の簡易手法」とは、上場株式については300%、非上場に400%のリスク・ウェイトを乗じた額をリスク・アセットの額とする手法です。

ヌ. 内部格付手法が適用されるポートフォリオについての事項

(1) 事業法人向け、ソブリン向け、金融機関等向けエクスポージャーに係る債務者格付ごとのパラメータ、リスク・ウェイト等

(単位：百万円)

2023年9月30日							
債務者格付		債務者区分	PD 加重平均値	LGD 加重平均値	リスク・ウェイト 加重平均値	EAD	
						オン・バランス	オフ・バランス
事業法人向けエクスポージャー			2.90%	42.25%	46.18%	2,469,037	28,225
	上位格付	正常先	0.16%	43.25%	29.65%	1,477,183	24,876
	中位格付	正常先	0.80%	40.45%	73.91%	831,583	2,588
	下位格付	要注意先	7.21%	41.03%	86.00%	104,480	760
	デフォルト	要管理先以下	100.00%	44.30%	1.40%	55,790	—
ソブリン向けエクスポージャー			0.00%	44.99%	1.19%	1,195,654	84,776
	上位格付	正常先	0.00%	44.99%	1.19%	1,194,626	84,776
	中位格付	正常先	—	—	—	—	—
	下位格付	要注意先	6.73%	45.00%	—	1,028	—
	デフォルト	要管理先以下	—	—	—	—	—
金融機関等向けエクスポージャー			0.04%	38.97%	23.09%	80,473	36,184
	上位格付	正常先	0.04%	38.96%	23.06%	80,373	36,184
	中位格付	正常先	0.84%	45.00%	67.75%	100	—
	下位格付	要注意先	—	—	—	—	—
	デフォルト	要管理先以下	—	—	—	—	—
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー			0.09%	90.00%	124.54%	23,398	—
	上位格付	正常先	0.07%	90.00%	123.37%	23,242	—
	中位格付	正常先	0.70%	90.00%	220.27%	70	—
	下位格付	要注意先	5.19%	90.00%	363.22%	85	—
	デフォルト	要管理先以下	100.00%	90.00%	—	—	—

(注) 1. 「上位格付」とは格付区分S～B-、「中位格付」とは格付区分C+～D、「下位格付」とは格付区分E～E-、「デフォルト」とは格付区分F～Zです。

2. 特定貸付債権、購入債権は含んでいません。

3. リスク・ウェイト加重平均値はスケーリング・ファクター（自己資本比率告示第152条において規定された乗数＝1.06）を乗じた後の信用リスク・アセットの額をもとに算出しております。

4. EADはエクスポージャー額から貸出金と自行預金の相殺分を控除しております。

5. オフ・バランス項目のEADはCCF（掛目）適用後のエクスポージャーを使用してあります。

6. PD/LGD方式適用の株式等エクスポージャーのリスク・ウェイト加重平均値は期待損失額に12.5を乗じた額を加算したリスク・ウェイトをもとに算出しております。

自己資本の構成に
関する開示事項定量的な開示事項
(連結情報)定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

(単位：百万円)

2024年9月30日						
債務者格付	債務者区分	PD 加重平均値	LGD 加重平均値	リスク・ウェイト 加重平均値	EAD	
					オン・バランス	オフ・バランス
事業法人向けエクスポージャー		2.80%	35.93%	39.25%	2,545,179	18,466
上位格付	正常先	0.17%	37.74%	28.15%	1,546,998	15,902
中位格付	正常先	0.81%	32.61%	59.07%	852,349	2,257
下位格付	要注意先	6.86%	35.15%	67.10%	89,955	289
デフォルト	要管理先以下	100.00%	37.41%	1.58%	55,875	16
ソブリン向けエクスポージャー		0.00%	44.99%	1.13%	1,163,856	74,321
上位格付	正常先	0.00%	44.99%	1.13%	1,162,895	74,321
中位格付	正常先	—	—	—	—	—
下位格付	要注意先	6.59%	45.00%	—	961	—
デフォルト	要管理先以下	—	—	—	—	—
金融機関等向けエクスポージャー		0.05%	42.84%	25.25%	84,300	57,080
上位格付	正常先	0.05%	42.84%	25.25%	84,300	57,079
中位格付	正常先	—	—	—	—	—
下位格付	要注意先	5.18%	45.00%	133.72%	—	1
デフォルト	要管理先以下	—	—	—	—	—

- (注) 1. 「上位格付」とは格付区分S～B-、「中位格付」とは格付区分C+～D、「下位格付」とは格付区分E～E-、「デフォルト」とは格付区分F～Zです。
2. 特定貸付債権、購入債権は含んでいません。
3. EADはエクスポージャー額から貸出金と自行預金の相殺分を控除しております。
4. オフ・バランス項目のEADはCCF（掛目）適用後のエクスポージャーを使用しております。

- (2) 居住用不動産向け、適格リボルビング型リテール及びその他リテール向けエクスポージャーに係るプール区分別パラメータ等

(単位：百万円)

2023年9月30日								
プール区分	PD 加重平均値	LGD 加重平均値	Eldefault 加重平均値	リスク・ウェイト 加重平均値	EAD		コミットメント 未引出し額	
					オン・バランス	オフ・バランス	掛目加重平均値	
居住用不動産向け エクスポージャー	1.77%	20.79%	—	16.06%	940,023	—	—	—
	非延滞先	0.52%	20.78%	15.72%	927,495	—	—	—
	延滞先	33.75%	21.26%	105.57%	1,095	—	—	—
	デフォルト	100.00%	21.45%	34.90%	11,432	—	—	—
適格リボルビング型 リテール向け エクスポージャー	1.70%	45.81%	—	15.58%	4,175	7,247	11,465	63.21%
	非延滞先	1.01%	45.72%	14.98%	4,074	7,233	11,443	63.21%
	延滞先	34.91%	55.05%	137.40%	52	2	3	61.96%
	デフォルト	100.00%	53.31%	17.68%	48	12	19	63.60%
その他リテール向け エクスポージャー (事業性)	5.91%	21.18%	—	10.56%	220,047	5,275	9,430	54.73%
	非延滞先	1.16%	21.06%	10.87%	209,021	5,268	9,426	54.73%
	延滞先	47.36%	25.46%	16.86%	380	1	3	54.73%
	デフォルト	100.00%	23.46%	3.93%	10,644	4	1	54.73%
その他リテール向け エクスポージャー (消費性)	2.44%	24.12%	—	18.87%	65,280	794	2,439	32.56%
	非延滞先	0.71%	24.20%	19.16%	64,112	791	2,431	32.56%
	延滞先	39.33%	34.96%	61.47%	37	—	—	—
	デフォルト	100.00%	19.27%	0.95%	1,131	2	8	32.56%

- (注) 1. 「Eldefault」とは、デフォルトしたエクスポージャーに生じうる期待損失のことです。
2. リスク・ウェイト加重平均値はスケーリング・ファクター（自己資本比率告示第152条において規定された乗数＝1.06）を乗じた後の信用リスク・アセットの額をもとに算出しております。
3. EADはエクスポージャー額から貸出金と自行預金の相殺分を控除しております。
4. オフ・バランス項目のEADはCCF（掛目）適用後のエクスポージャーを使用しております。

(単位：百万円)

2024年9月30日								
プール区分	PD 加重平均値	LGD 加重平均値	Eldefault 加重平均値	リスク・ウェイト 加重平均値	EAD		コミットメント 未引出し額	掛目加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
居住用不動産向け エクスポージャー	1.71%	20.57%	—	15.70%	974,081	—	—	—
非延滞先	0.51%	20.56%	—	15.28%	961,806	—	—	—
延滞先	34.22%	20.53%	—	106.56%	881	—	—	—
デフォルト	100.00%	21.15%	17.58%	44.30%	11,394	—	—	—
適格リボルビング型 リテール向け エクスポージャー	2.60%	65.39%	—	32.82%	4,282	3,865	10,549	33.25%
非延滞先	1.52%	65.34%	—	30.48%	4,148	3,850	10,518	33.25%
延滞先	35.30%	68.57%	—	191.32%	82	7	11	31.03%
デフォルト	100.00%	68.09%	55.00%	109.66%	51	7	20	32.25%
その他リテール向け エクスポージャー (事業性)	6.20%	30.38%	—	15.51%	218,921	1,503	9,241	11.32%
非延滞先	1.20%	30.32%	—	15.77%	207,452	1,495	9,233	11.32%
延滞先	48.86%	31.65%	—	23.41%	586	3	1	11.32%
デフォルト	100.00%	31.36%	22.78%	10.02%	10,881	4	6	11.32%
その他リテール向け エクスポージャー (消費性)	2.49%	33.31%	—	26.57%	66,354	776	2,363	16.18%
非延滞先	0.71%	33.36%	—	26.90%	65,080	772	2,355	16.18%
延滞先	39.40%	35.36%	—	72.02%	130	—	—	—
デフォルト	100.00%	30.31%	18.96%	2.18%	1,143	3	8	16.18%

- (注) 1. 「Eldefault」とは、デフォルトしたエクスポージャーに生じうる期待損失のことです。
2. EADはエクスポージャー額から貸出金と自行預金の相殺分を控除しております。
3. オフ・バランス項目のEADはCCF (掛目) 適用後のエクスポージャーを使用しております。

ル. 内部格付手法を適用するエクスポージャーごとの直前期における損失の実績値及び当該実績値と過去の実績値の対比並びに要因分析

(単位：百万円)

区分	2023年9月30日	2024年9月30日
事業法人向け	13,316	10,734
ソブリン向け	—	—
金融機関等向け	—	—
PD/LGD方式を適用する株式等	—	—
居住用不動産向け	104	121
適格リボルビング型リテール向け	—	—
その他リテール向け	1,667	1,831
合 計	15,087	12,687

- (注) 1. 損失額の定義は以下の合計額であります。
・過去1年間に生じた直接償却額及び貸出債権売却損失額
・部分直接償却額、個別貸倒引当金及び要管理先に対する一般貸倒引当金の期末時点残高
2. 価格変動リスクの実現のみによる売却損や償却は含めておりません。

〈要因分析〉

事業法人向けエクスポージャーにおける引当金の減少を主因に、損失額の実績値は前年度比減少しました。

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
(連結情報)

定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

ヲ. 内部格付手法を適用するエクスポージャーごとの長期にわたる損失額の推計値と実績値との対比

(単位：百万円)

2023年9月30日			
区分	損失額の実績値 (A)	損失額の推計値 (B)	対比 (A) - (B)
事業法人向け	13,316	26,899	△13,582
ソブリン向け	—	5	△5
金融機関等向け	—	20	△20
PD/LGD方式を適用する株式等	—	13	△13
居住用不動産向け	104	3,545	△3,441
適格リボルビング型リテール向け	—	91	△91
その他リテール向け	1,667	1,675	△8
合 計	15,087	32,250	△17,162

(単位：百万円)

2024年9月30日			
区分	損失額の実績値 (A)	損失額の推計値 (B)	対比 (A) - (B)
事業法人向け	10,734	25,503	△14,768
ソブリン向け	—	5	△5
金融機関等向け	—	19	△19
居住用不動産向け	121	3,176	△3,054
適格リボルビング型リテール向け	—	84	△84
その他リテール向け	1,831	1,554	277
合 計	12,687	30,342	△17,655

三. 信用リスク削減手法に関する事項

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位：百万円)

	2023年9月30日			
	適格金融 資産担保	適格資産 担保	適格保証	クレジット・ デリバティブ
標準的手法適用部分	—	—	—	—
内部格付手法適用部分	32,398	627,977	287,319	—
事業法人向け	16,771	627,480	192,112	—
ソブリン向け	—	497	5,799	—
金融機関等向け	15,627	—	—	—
居住用不動産向け	—	—	678	—
適格リボルビング型リテール向け	—	—	1,398	—
その他リテール向け	—	—	87,330	—
合 計	32,398	627,977	287,319	—

- (注) 1. 適格金融資産担保とは、現預金、債券、上場株式等です。
2. 適格資産担保とは、法的に有効な不動産担保等です。
3. 信用リスク削減手法が適用される前のエクスポージャー区分ごとに記載しております。

(単位：百万円)

	2024年9月30日			
	適格金融 資産担保	適格資産 担保	適格保証	クレジット・ デリバティブ
標準的手法適用部分	—	—	—	—
内部格付手法適用部分	20,869	572,933	268,445	—
事業法人向け	14,108	572,597	172,868	—
ソブリン向け	—	336	8,194	—
金融機関等向け	6,760	—	—	—
居住用不動産向け	—	—	955	—
適格リボルビング型リテール向け	—	—	704	—
その他リテール向け	—	—	85,721	—
合 計	20,869	572,933	268,445	—

- (注) 1. 適格金融資産担保とは、現預金、債券、上場株式等です。
2. 適格資産担保とは、法的に有効な不動産担保等です。
3. 信用リスク削減手法が適用される前のエクスポージャー区分ごとに記載しております。

四. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

イ. 与信相当額の算出に用いる方式

先渡、スワップ、オプションその他の派生商品取引及び長期決済期間取引の与信相当額は、SA-CCRにて算出しております。

ロ. グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る。）の合計額

(単位：百万円)

2023年9月30日	2024年9月30日
11,826	14,366

ハ. 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額

(派生商品取引にあっては、取引の区分ごとの与信相当額を含む。)

(単位：百万円)

種類及び取引の区分	与信相当額	
	2023年9月30日	2024年9月30日
外国為替関連取引及び金関連取引	1,769	
金利関連取引	18,039	
株式関連取引	823	
貴金属関連取引（金関連取引を除く）	—	
その他のコモディティ取引	209	
派生商品取引	20,841	
クレジット・デリバティブ	340	
合 計	21,181	

ニ. ロ.に掲げる合計額及びグロスのアドオンの合計額からハ.に掲げる額を差し引いた額

該当ありません。

ホ. 担保の種類別の額

該当ありません。

自己資本の構成に
関する開示事項

定量的な開示事項
(連結情報)

定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

ヘ. 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の与信相当額

(単位：百万円)

種類及び取引の区分	与信相当額	
	2023年9月30日	2024年9月30日
外国為替関連取引及び金関連取引	1,769	9,172
金利関連取引	18,039	29,707
株式関連取引	823	—
貴金属関連取引（金関連取引を除く）	—	—
その他のコモディティ取引	209	—
派生商品取引	20,841	38,879
クレジット・デリバティブ	340	522
合 計	21,181	39,402

ト. 与信相当額算出の対象となるクレジット・デリバティブの想定元本額をクレジット・デリバティブの種類別、かつ、プロテクションの購入又は提供の別に区分した額
該当ありません。

チ. 信用リスク削減手法の効果を勘案するために用いているクレジット・デリバティブの想定元本額
該当ありません。

五. 証券化エクスポージャーに関する事項

イ. 銀行がオリジネーターである証券化エクスポージャーに関する事項

当行は、オリジネーターとして証券化を実施していないことから、定量的な開示事項はありません。

ロ. 銀行が投資家である証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

当行は、投資家として証券化エクスポージャーを保有していないことから、定量的な開示事項はありません。

六. CVAリスクに関する事項

(単位：百万円)

	2024年9月30日	
	構成要素の額	CVAリスク相当額を8%で除して得た額
CVAリスクのうち取引先共通の要素	10,636	
CVAリスクのうち取引先固有の要素	4,124	
合 計		52,051

(注) 1. 「CVAリスクのうち取引先共通の要素」とは、自己資本比率告示第270条の3の3に定める限定的なBA-CVAによりCVAリスク相当額を算出する場合における $K_{reduced}$ の算式において、 ρ を1と仮定した場合に算出される $K_{reduced}$ の値であります。
2. 「CVAリスクのうち取引先固有の要素」とは、自己資本比率告示第270条の3の3に定める限定的なBA-CVAによりCVAリスク相当額を算出する場合における $K_{reduced}$ の算式において、 ρ を0と仮定した場合に算出される $K_{reduced}$ の値であります。

七. 出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

イ. 中間貸借対照表計上額、時価及び次に掲げる事項に係る中間貸借対照表計上額

(1) 出資等又は株式等エクスポージャー

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額		時 価	
	2023年9月30日	2024年9月30日	2023年9月30日	2024年9月30日
上場している出資等又は株式等エクスポージャーの中間貸借対照表計上額	47,961	55,303		
上記に該当しない出資等又は株式等エクスポージャーの中間貸借対照表計上額	1,663	1,648		
合 計	49,625	56,951	49,625	56,951

(2) 子会社及び関連会社株式等

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	
	2023年9月30日	2024年9月30日
子会社・子法人等	6,039	6,039
関連法人等	41	41
合 計	6,081	6,081

ロ. 出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	2023年度中間	2024年度中間
売却損益	197	416
償却額	0	0

ハ. 中間貸借対照表で認識され、かつ、中間損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

2023年9月30日	2024年9月30日
30,196	37,411

二. 中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

ホ. 株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額

(単位：百万円)

	2023年9月30日
PD/LGD方式が適用される株式等エクスポージャー	23,398
マーケット・ベース方式の簡易手法が適用されるエクスポージャー	2,084
マーケット・ベース方式の内部モデル手法が適用されるエクスポージャー	—
上記以外でリスク・ウェイト100%が適用される株式等エクスポージャー	—
合 計	25,483

(単位：百万円)

	2024年9月30日
投機的な非上場株式に対する投資に該当する株式等	—
上記以外の株式等	25,595
合 計	25,595

ハ. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの区分ごとの額

(単位：百万円)

	2023年9月30日	2024年9月30日
ルック・スルー方式	108,441	114,540
マンドート方式	—	—
蓋然性方式 (250%)	—	—
蓋然性方式 (400%)	—	—
フォールバック方式	244	240
合 計	108,685	114,780

- (注) 1. 「ルック・スルー方式」とは、当該エクスポージャーの裏付となる個々の資産の信用リスク・アセットを算出し足し上げ信用リスク・アセットの額を算出する方式であります。
2. 「マンドート方式」とは、当該エクスポージャーの運用基準（マンドート）に基づき、資産構成を保守的に想定して信用リスク・アセットの額を算出する方式であります。
3. 「蓋然性方式（250%）」とは、当該エクスポージャーのリスク・ウェイトが250%以下である蓋然性が高いことを疎明した場合に、信用リスク・アセットの額を算出する方式であります。
4. 「蓋然性方式（400%）」とは、当該エクスポージャーのリスク・ウェイトが400%以下である蓋然性が高いことを疎明した場合に、信用リスク・アセットの額を算出する方式であります。
5. 「フォールバック方式」とは、上記1. 2. 3. 4. の方式が適用できない場合に、信用リスク・アセットの額を算出する方式であります。

自己資本の構成に
関する開示事項定量的な開示事項
(連結情報)定量的な開示事項
(単体情報)

定量的な開示事項（単体情報）

九. 金利リスクに関する事項

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末
1	上方平行シフト	3,643	6,683	14	1,111
2	下方平行シフト	5,568	0	1,968	84
3	スティープ化	6,044	6,950		
4	フラット化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最大値	6,044	6,950	1,968	1,111
		ホ		ヘ	
		当中間期末		前中間期末	
8	自己資本の額	217,630		208,607	

十. 内部格付手法と標準的手法の比較に関する事項

イ. 信用リスクに関する事項

(単位：百万円)

	2024年9月30日			
	内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額	内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額について、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額	信用リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額（フロア掛目前）
事業法人向けエクスポージャー	1,006,358	1,955,615	1,008,526	1,957,783
ソブリン向けエクスポージャー	14,094	11,574	14,094	11,574
金融機関等向けエクスポージャー	35,956	40,402	35,956	40,402
居住用不動産向けエクスポージャー	152,986	476,124	152,986	476,124
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	2,674	4,029	2,674	4,029
その他リテール向けエクスポージャー	52,033	164,594	52,033	164,594
株式等エクスポージャー	63,988	25,595	63,988	25,595
特定貸付債権	22,278	31,510	22,278	31,510
購入債権	8,767	12,160	8,767	12,160
合 計	1,359,138	2,721,606	1,361,306	2,723,774

ロ. 証券化エクスポージャーに関する事項

当行では、該当する取引はございません。